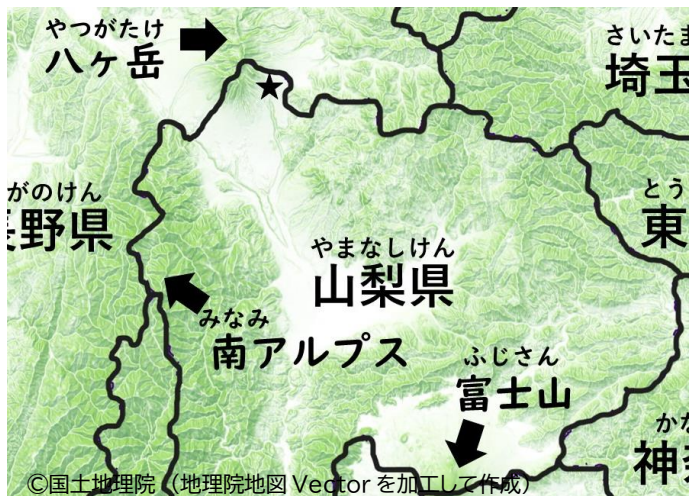


<森のクイズラリー> 問題&解説シート 2024 年度春版

A

Q. みなさんが今立っているこの場所は、地図で見ると一体どのあたりにあるでしょう？「ここが清里だ！」と思う場所に点を書き込んでみましょう。



【こたえ】地図の★印が正解
 やつがたけ 八ヶ岳のすぐふもと、山梨県の一番北西に清里はあります。清里から見える八ヶ岳、みなみ 南アルプス、ふじさん 富士山はどれも隣の県との境目になっているのですね。出かけた先で今いる場所が分かると、自分の家はどの方向でどれほど遠くまで来たのかもわかってきて、ワクワク感もふくらみますね！

B

Q. 遅い春を迎えた清里で、木々の新芽が芽吹いてきています。いろいろな新芽を見つけて、そのさわりごちを言葉で書いてみましょう！

【こたえ】あなたの書いた答えが正解！

冬の間に、葉を小さくたたんだ冬芽で寒さに耐えていた植物は、春になると日光を求めてその葉を広げていきます。これを、葉を展開すると書いて「展葉」と言います。展葉した新芽は植物の種類や成長の具合によって、色や形、さわりごちも様々に変わります。きっと、皆さんが暮らしている周りでも新芽はたくさん見つかります。これからの時期、どんどん広がる新芽の成長を見ていくのも面白いですよ。

C

Q. これから夏に向かっていく中で、ヤマネはオスがメスにプロポーズをします。次のうち、ヤマネのプロポーズとして合っているものはどれ？

- ① ダンスを踊る
- ② 食べ物を渡す
- ③ 赤ちゃんのような声で鳴く
- ④ 体からいい匂いを出す

【こたえ】③赤ちゃんのような声で鳴く

冬眠から覚めたヤマネは、花の花粉や虫を食べて体力をつけていき、5月頃、オスとメスとの出会いのシーズンとなります。そこでオスはヤマネの赤ちゃんのような声で鳴いて、自分をアピールをします。実際に、ヤマネを研究している湊秋作先生が「きゆるきゆるきゆる」と鳴きながらメスを追いかけるオスの観察に成功しています。私たちが人間が赤ちゃん声でプロポーズをしたらびっくりしてしまいますね！

D

Q. 森の土の中には、動植物のくらしや成長を支える、小さな生き物(微生物)がたくさん住んでいます。森の土1gに住んでいる微生物の数と一番近いのは？

- ① 約200万匹 (長野県の人口くらい)
- ② 約70万匹 (山梨県の人口くらい)
- ③ 約5万匹 (北杜市の人口くらい)

【こたえ】 ① 約200万匹 (長野県の人口くらい)

1g と言えば、1円玉1個分の重さ。たったそれだけの土の中に、何百万もの微生物が住んでいるとは驚きですね！その微生物たちが、落ち葉や枯れ木のほか、生き物の死体や糞も分解して、ふかふかで栄養たっぷりの土をつくってくれています。その土が水を蓄えたり、植物を育てたり、いろいろな生き物の住み家にもなっているのです。また森だけではなく、牧場や畑、田んぼの土も微生物の働きで豊かになり、私たちはおいしいごはんを食べることができているのです。

E

Q. ここまで歩いてきた道やそこで気づいたことを思い出して、あなたの暮らしている場所と違うと感じたことを、思いついた数だけ書いてみましょう。

【こたえ】 あなたの書いた答えが正解！

八ヶ岳自然ふれあいセンターの森は標高1400mの八ヶ岳のふもとにあります。

みなさんは歩いていてどんな違いを感じたでしょうか。「なんだか涼しいな、緑が多い、生き物が近くに住んでいる、川のお水がきれい、飛んでいる鳥がちがう、森のいい匂いがする、人も建物もすくない、静かだな」など森の周りを少し歩いただけで沢山の違いに気づいたのではないのでしょうか。

みなさんのお家や学校の周りはどうでしょうか。よく見るとおもしろい生き物やきれいな草花がひっそりくらしているかもしれません。

みなさんの素敵な「発見力」で今度ここに来てくれたときは、あなたの見つけたお気に入りのことを教えてほしいです。